

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	自治防災課
事業名	交通安全対策事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,215	2,149		2,149			2,149	▲ 66
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
一般財源	2,215	2,149		2,149			2,149	▲ 66

事業概要	小学校、幼稚園、保育所を対象とした交通安全巡回公演や高齢者を対象とした交通安全教室等を実施し、交通安全教育を推進する。	今年度見直し事項	
事業目的	交通安全教育や啓発活動により交通事故防止を図る。		
現状と背景	境港警察署、交通安全協会等と協力して、春・夏・秋・年末の交通安全運動を境港市交通対策協議会で計画し、実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	管理課
事業名	交通安全施設整備事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	6,358	9,822		6,063			6,063	▲ 295
財 源 内 訳	国							
	県		1,218					
	市債							
	その他							
一般財源	6,358	8,604		6,063			6,063	▲ 295

事業概要	夜間の車両通行や歩行者の防犯の観点から街路灯の設置や、車両通行の視界を確保するためのカーブミラーの設置を行う。	今年度 見直し 事項	
事業目的	交通安全施設を整備することにより、快適な交通環境や安心安全な生活環境の確保を図る。		
現状と背景	近年、市民の安全意識の向上により、カーブミラーや街路灯の設置要望が増加傾向にある。必要性等考慮して対応する。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	自治防災課
事業名	鳥取県高速道路交通安全協議会会費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	15	15		15			15	
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	15	15		15			15

事業概要	高速道路における事故防止運動の推進団体として、安全教育の充実強化と安全活動の各種取り組みを行っている鳥取県高速道路交通安全協議会の会費。	今年度 見直し 事項	
事業目的	高速道路における交通安全意識の高揚を図り、交通事故防止と円滑な交通の実現に寄与する。		
現状と背景	米子道において交通安全広報活動や大型車両広報検問等を実施している。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	自治防災課
事業名	高齢者運転免許自主返納支援事業
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	470	470		470			470	
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	470	470		470			470

事業概要	高齢者の交通事故を減少させるため、運転免許を自主返納した高齢者に対し、代替交通手段としてはまる一ふバスの回数乗車券を交付する。	今年度見直し事項	
事業目的	運転免許の自主返納しやすい環境を整備し、高齢者の交通事故を減少を図る。		
現状と背景	高齢者の交通事故の割合が高くなっている。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	管理課
事業名	交通安全施設管理費
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	20,494	20,240		20,240			20,240	▲ 254
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他							
	一般財源	20,494	20,240		20,240		20,240	▲ 254

事業概要	市が設置した街路灯の修繕など維持管理を行う。	今年度 見直し 事項	
事業目的	交通安全施設を適正に管理し、安心安全な生活環境の確保を図る。		
現状と背景	電気料は、設置数の増加に伴い年間約1,400万円余を支出しており増加する一方である。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	管理課
事業名	通学路安全対策整備事業
補助単独の別	補助

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費		12,000		12,000			12,000	12,000
財源内訳	国	6,600		6,600			6,600	6,600
	県							
	市債			4,800			4,800	4,800
	その他							
	一般財源	5,400		600			600	600

事業概要	各校区の通学路について、学校、警察との合同安全点検の結果を踏まえ、警察ならびに公安委員会等と連携し対策が必要な歩道や路側帯にカラー舗装などの視覚的な歩車道分離等の整備を行うものである。	今年度見直し事項	
事業目的	通学路の交通安全確保のため対策が必要な箇所の整備を行うものである。		
現状と背景	通学路の安全対策について平成22年度から鳥取県警本部、境港市建設部、市教育委員会、市内の小・中学校・高等学校、各PTAの代表で構成する「通学路の安全対策合同会議」を立ち上げ、平成23年度から自治会、公民館も加わり道路の老朽箇所や街灯の設置状況等の状況など、校区ごとに現地調査を行ってきた。平成24年度は通学路における交通事故が問題となり関係機関と合同安全点検を行い、その結果を踏まえて対策を計画するものである。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	自治防災課
事業名	チャイルドシート購入費補助金
補助単独の別	単独

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費	2,000	1,750		1,750			1,750	▲ 250
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他	2,000		1,750			1,750	▲ 250
一般財源		1,750						

事業概要	チャイルドシートを購入する市民に、購入費の一部(補助率1/2, 限度額5,000円)を補助することにより、チャイルドシートの着用を推進し、乳幼児の死傷事故の防止を図るとともに、子育て世帯の経済的負担を軽減することで、少子化対策及び子育て支援に寄与する。	今年度見直し事項	
事業目的	チャイルドシートの着用を促進し、乳幼児の死傷事故の防止を図る。また、少子化対策として子育て支援も併せて目的とする。		
現状と背景	鳥取県内のチャイルドシートの着用率は大変低い状況であり、交通安全県民運動においても、運動の重点として取り組んでいる。	その他	

会計	10	一般会計
款	8	土木費
項	1	土木管理費
目	2	交通安全対策費

所管課	管理課
事業名	街路灯・防犯灯省エネルギー対策事業
補助単独の別	

	前年度 ①	要求段階		財政課長内示 ③	総務部長 ④(増減額)	市長査定・最終調整 ⑤(増減額)	予算計上 ⑥=③+④+⑤	増減 ⑥-①
		当初要求 ②	追加要求等					
事業費			150,000			150,000	150,000	150,000
財 源 内 訳	国							
	県							
	市債							
	その他					135,000	135,000	135,000
	一般財源			150,000		15,000	15,000	15,000

事業概要	市が管理する全ての街路灯・防犯灯を一括してLED化する。	今年度 見直し 事項	
事業目的	増加するニーズとトータルコストのバランスを図るため、灯具本体を蛍光灯からLEDに取り替えることで省エネルギー化を図り、全体コストを圧縮することを目的とする。		
現状と背景	歩行者の防犯の観点から街路灯の設置は年々増加傾向である。それと比例する形で年間使用電力料は増加の途をたどっている。	その他	